

Trip.com カンファレンス

新幹線予約販売が今年2月にリリース

高田 新幹線の予約販売は、正式リリースが今年2月です。大手OTAの中で、JRと正式に契約して新幹線を販売しているのはTrip.comだけです。開発には約2年かかり、大規模なプロジェクトとなりました。私たちは、この取り組みを短期的な成果だけでなく、日本旅行全体の利便性を高めるための重要な基盤づくりと位置付けています。

新幹線をご利用いただくお客さまが、そのままホテルや航空券なども含めてシームレスに旅行を計画・予約できる環境を整えることで、より良い旅行体験を提供していきたいと考えています。それに加え、日本にいられた旅行者の方が不便を感じないようにするためというが最も大切な理由です。スマートフォン一つで新幹線を予約し、そのまま乗れる体験は、20年前には考えられなかったことです。日本交通インフラはともかく、何とも相談できるレベルまで、深くご理解いただいております。



阪急阪神ホテルズ
取締役常務執行役員
吹谷佳孝氏



東武ホテルマネジメント
代表取締役社長執行役員
堀川順弘氏

Trip.comへの期待

—Trip.com トナーとして当社にどういった上で、具体的な施策をいただけており、策をご提案くださっている。そのような販売戦略。ご対応の早さにも

連携強化し実行スピード早める
旅行の付加価値をどう高めるか
施設と情報共有、細かい示唆を
最先端のAI活用を学びたい
課題に逃げず、向き合い続ける

吹谷 現在も、Trip.comでどこにアプローチするか、戦略実行についても、桜・紅葉の、OTAとしてのプラットフォームで実現できるか、例えばRの、道です。日本は島国であるという点、雨のレジェンド案内など、既存の交通インフラは、

事業環境変化のスピードがますます高まる中、冬は夕暮れ、富士山といった体験価値を打ち出す。Trip.com様の連携を、日本観光がさらに強化し、施策の実行スピードをさらに高めていきたいと思っています。堀川 安易な値引きは、重要なポイントです。和田 Trip.comさんが持つデータは、非常に有用だと感じています。どの国のお客さまが、旅行の付加価値を高く感じているのか、ステイションとして、必要な動向をリアルタイムで把握できる環境は、Trip.comさんのプラットフォームを大いに期待しています。高田 本日はお忙しい中、上海でお時間をいただきありがとうございます。中、上海でお時間をいただきありがとうございます。世界に的的要因がある。日本の文化的な概念、お集まりいただくことは大変ありがたいことです。皆さまのお話を聞き、今後の方向性について、



Trip.com International Travel Japan
代表取締役社長
高田智之氏

Trip.com

ワンストップ旅行アプリ

航空券、ホテル、列車、空港送迎など
旅行の予約がひとつのアプリで。

顧客満足度 No.1
2026年 オリコン顧客満足度調査 旅行予約サイト 海外旅行 第1位



国内・海外でも
365日 24時間
日本語対応のカスタマーサポート

